



# 越中福岡 の 菅笠製作技術 保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2019年7月 No.28

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12  
高岡市役所福岡庁舎 地域振興課内  
TEL.0766-64-1422 FAX.0766-64-5344

<http://sugegasa.web.fc2.com>



## 祝 城山会長 令和最初の富山風雪賞受賞！



5月26日(日)ホテルニューオータニ高岡で、富山県内の各分野で長年にわたり精進を積み重ね、「地の塩」となって郷土の発展を支えた人たちを顕彰する「第37回富山風雪賞」の贈呈式が行われ、城山孝会長に賞状と賞牌(しょうはい)、副賞が贈られました。

城山会長は、2008年の越中福岡の菅笠製作技術保存会(以下、菅笠保存会)設立時から理事を務め、2013年に設立された越中福岡スゲ生産組合の組合長も務めました。背丈の長い良質なスゲを栽培する一方で、菅笠保存会主催の笠骨づくりを学び、現在では笠骨職人としても活躍しています。2015年には菅笠保存会の会長に就任し、後継者育成にご尽力されています。

これからも、越中福岡の菅笠の伝統の技を未来に残し、繋いでいけるよう、菅笠保存会が一丸となり努力してまいりますので、皆様のお力添えをいただけたらと思います。

◀城山会長 左から二番目。  
富山風雪賞→1983(昭和58)年、富山新聞創刊60年と富山県置県100年を記念して創設。

## 「笠骨づくり」職人育成「菅笠製作技術後継者審査委員会」

3月27日(水)福岡庁舎3階大会議室で、平成30年度菅笠製作技術後継者審査委員会が開かれ、第3期生の坂林泰子さんと、第4期生に応募した谷道文夫さんの面接と審査を審議し、坂林さんは継続、谷道さんを継承者として選定しました。

谷道さんは、「笠骨づくり講座を3年間受講した。この次のステップとして材料の目利きからスタートしたい」と次のステップに進み、自分の技術として身につけたいと意欲的です。

中嶋尋之副委員長から坂林さんに、「基本は出来ている。笠骨づくりの要をつかんで続けて欲しい」と期待が高まる評価がありました。

越後喜代委員からは笠縫い職人の立場として、「自分で作った笠骨で縫ってみると、都合の悪いところが分かると思うので、是非、一度縫ってもらいたい。」という提案がありました。



中嶋尋之さん工房(左から 中嶋先生、坂林さん)

▶「笠骨づくり継承者」第4期生の谷道文夫さんと中嶋先生。谷道さんは「作業を早く進め、材料の歩留まりを良くしたい」と、熱心に習得中です！

▶審査委員会の様子。外輪骨の重なり合う部分が太くなると、笠縫いのノズケ作業に影響するので、注意してほしいという意見がありました。





写真上/笠骨づくり講座(受講者…4名)  
講師…中嶋尋之さん、北守栄一さん  
笠縫い職人のことを考え、縫いやすい笠骨をつくり  
を目指し、各工程の要を指導していただきました。

写真下/笠縫い講座(受講者…16名)  
講師…橋本レイ子さん、松平カヅミさん  
長時間、座って笠を縫うのは腰が痛い…。腰痛緩和に  
と、和室の床座りスタイルから椅子スタイルに変更  
しました。

## 平成 30 年度「菅笠づくり後継者育成講座」

平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月の 10 カ月間、福岡庁舎で菅笠づくりの笠骨づくりと、笠縫い講座（高岡市主催）を行いました。

笠骨づくり講座は、昨年度の 10 回から月 2 回の計 20 回に増やし、1 回 3 時間で 1 つの笠骨を製作しました。1 カ月に 2 回、同じ笠骨を製作するので、前回の反省点を活かしてステップアップすることができました。

笠縫い講座は、昨年度同様に月 2 回の計 20 回(1 回 5 時間)行い、この 10 カ月間に平均 7 蓋の笠を縫いあげました。研修 3 年目の受講票には、「大変良くできています。よく頑張られました!」と講師からの講評が記入されていました。

講師の皆様、10 カ月間、丁寧にご指導と講評をしてくださり、ありがとうございました!



受講 3 年目の受講者は終了となります。菅笠づくり実演や体験指導をご依頼することがありますので、これからもよろしくお願いいたします。

笠縫い講座では受講できなかった、特殊笠などの製作技術指導をご希望の修了生の方に、マンツーマン指導をご紹介します。ご連絡お待ちしております。(64-1422)

## 平成 30 年度 マンツーマン指導



地崎さん(左)

揃っておりきれいに仕上がっています。」とお褒めの言葉を頂きました。

笠骨づくりマンツーマン指導は、4 月～翌年の 3 月までに月に 2～5 回、寺島吉弘さん等 2 名が講師の中嶋尋之さんから乙女笠やヘルメット笠の削りや曲げ加工などを学びました。講師からは「笠骨製作は削り加工の技術が大切である。」と基本を確認しながら丁寧に仕上げることを指導されました。



寺島さん



## 上向田ふれあい交流 菅笠講習会



3 月 23 日(土)上向田集会場で、平成 30 年度「上向田ふれあい交流菅笠講習会」が行われ、理事の宮崎光子さんが、15 名に角笠と花笠の笠縫いを指導しました。

この講習会は、地域で少しでも菅笠づくりが継承、発展できればという思いで、毎年行われています。地域発信の取り組みにより、菅笠づくりの伝統が受け継がれていくことを大変嬉しく感じています!

# イベントなどに参加、菅笠づくり体験・実演

## 「福野中学校 笠縫い体験」

1月29日(火)、南砺市立福野中学校2年生23名が、南砺市の「祭り」をテーマにした授業で、「むぎやまつり」に使われる角笠の製作を体験し、笠縫い職人の城山ミキさんと越後喜代さん、笠縫い研修修了生の向井國子さんが指導しました。



福野中学校で体験

むぎやまつりに使われる角笠は直径50cm程あり大きいのですが、今回は体験ということで直径9cmのミニ菅笠づくりを体験しました。



福野中学校で体験

笠縫い、頭止めの理解が早く、集中力がすごい！みんな時間内に仕上がりました。

## 「ふくおかひなまつり エコまちイベント」

3月3日(日)、第10回ふくおかひなまつり エコまちイベント(2/23～3/3)で、笠縫い実演とスゲのおひなさまづくり体験を行いました。笠縫い実演を、笠縫い職人の城山ミキさんと越後喜代さん、スゲのおひなさまづくり体験指導を、スゲっこメイトの糸岡淑子さんと竹村与志子さんが行いました。



エコまちイベント

笠縫い実演を見て、昔がなつかしい〜と微笑む来場者。



エコまちイベント

スゲのおひなさまづくりは、ペットボトルを再利用します。ふっくらとしたかわいらしいおひなさまの着物は、スゲでできています。

## 令和元年「高岡御車山祭」



毎年5月1日に行われている高岡御車山祭に合わせて、山町ヴァレーで菅笠づくり実演を行いました。御車山祭では、横から見るとほぼ一直線になっている一文字笠を、山車を先導する山役人がそろって被ります。



かきばん  
山下やすみ

一文字笠の笠骨づくりを、菅笠作家の中山焯雲(こううん)さん、笠縫いを笠縫い研修修了生の地崎知江さんと大野記代枝さんが交替で行いました。

一文字笠は、武士が使用した格式ある菅笠だにゃん♪ 現在では高岡御車山祭などの祭礼用に使われているにゃんよ。

## まちづくり出前講座



かわいいうりぼうができました♪

2月17日(日)、まちづくり出前講座「越中福岡の菅笠づくりの歴史・親子ものづくり教室」が高岡市立能町公民館で行われ、歴史の説明を事務局の柴田桂美、ものづくり教室としてスゲを使った「干支(猪)とコースターづくり」の指導を、スゲっこメイトの大道悦子さん、竹村与志子さん、永田厚子さんが行いました。



4歳から85歳まで、幅広い年齢層45名が参加しました。



あいにくの雨となってしまいましたが、沢山の方が来てくれました。ありがとうございました。

【高岡御車山祭】  
高岡の金工・漆工・染織等の優れた工芸技術の装飾が車輪や高欄、長押等に施された日本でも屈指の華やかな山車。「高岡御車山祭の御車山行事」は、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録されました！

## 令和元年度 総会

6月5日(水)、福岡庁舎3階大会議室で、令和元年度「越中福岡の菅笠製作技術保存会」総会が行われました。会員からは、「笠を生産している集落で笠縫い講座を開いたらどうか」などの意見がありました。



後継者育成事業、講座などで研修生が製作した笠骨と菅笠を展示しました。

皆様の意見を反映できるように進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

平成21年3月に菅笠保存会が発足し、皆様のご理解とご協力のおかげで、10周年を迎えることが出来ました。発足10周年と新元号記念を祝して、菅笠保存会マスコットキャラクターのかさぼんこ新作イラストをあしらったタオルを、会員の皆様に進呈することになりましたので、楽しみにお待ちしております！

(理事会開催日) 5/24(金) R1第1回理事会(福岡庁舎)



## 令和元年度「菅笠づくり後継者育成講座」スタート！



の受講者に角笠や富士笠の竹割りや削り方などを丁寧に指導します。

今年度から、受講票に受講者の感想や反省点を記入してもらい、講師からは完成した笠骨の講評と5段階評価をして頂くことになりました。講師からの講評を励みに、次の笠骨づくりに活かしていけたらと思います。

国の重要無形民俗文化財である菅笠製作技術を習得する「令和元年度 菅笠づくり後継者育成講座 笠骨づくり」(高岡市主催)が6月からスタートしました。

講師は中嶋尋之さんと北守栄一さん、小骨づくり講師に城山孝会長、臨時講師として菅笠作家の中山煌雲(こううん)さんが、月2回(計20回 1回3時間)6名(初受講5名、3年目1名)



【お知らせ】笠縫い講座は8月から開講します。  
8月号の市民と市政に募集要項が掲載されます。

◆高岡市公式HP ほっとほっと高岡 広報紙「たかおか市民と市政」(毎月1日発行)  
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/joho/shise/koho/kohoshi/shisetop/index.html>



## 令和元年度 スゲ田面積調査

6月14日(金)に、越中福岡スゲ生産組合の村本孝義会長・保存会事務局3名で、令和元年度スゲ田面積調査(高岡市実施)を行いました。年々、調査するスゲ田が減少しており、一日で調査が終了しました。今年の6月から8枚もの

スゲ田が減り、平成25年度調査のスゲ田総面積の半分以下という調査結果になってしまいました。ですが、今年の植え付けから新規に栽培を行う方も出てきて、本当に嬉しく思っています。

スゲ栽培に興味がある方!大募集です。是非、事務局までご連絡ください。(64-1422)

## かさぼんこからのお知らせ

福岡庁舎1階の菅笠展示コーナーがリニューアルしたにゃん!

菅笠づくりに使う道具や、菅笠と笠骨の比較展示など、菅笠に詳しくなっちゃうにゃんよ。

皆、見に来てにゃん!

